

09 話題ひと

<4>

留萌市は今年、一定規

「一定規則」と話す。留萌市は今年、一定規則の集団を対象に健康診断のデータを蓄積、研究を通して疾病の予防や原因を究明する臨床研究・留萌コホートピア構想をスタートさせる。昨年九月には、道内医科大学の研究者らによる「るもいコホートピア推進機構」が設立。市の推進プロジェクトチームは、今後展開される構想の事業の円滑な支援を目的に、関係各課の職員を配置し、昨年十二月一日に発足した。「市民が自ら率先して健康づくり活動に参加できる環境構築に向け、推進機構と連携を図りながら事業を進めていき

コホートピア推進プロジェクトチームリーダー

岩崎 智樹さん



市民主役の健康づくり

研究者、製薬会社などが参加し、集めたデータを整理している。今の推進や市民の健康づくりの現状。市民が効果的な連携などを通して、行政と市民が一体となり、効率的な健康づくりの周知、協力などに努める。たい」という。町内会の健康づくり活動を支援する健康いきいき比べて健診受診率が低健康づくり計画も、目指すところは市民の健康で、五十五歳) あり、「自分の健康は自分で守る」という考え方は一緒。既存の保健予防事業を継続しながら、健康いきいきサポーターと